

高3数学β 2017スタンダード演習 41.平面ベクトル(2)

1 [2013 横浜国立大]

鋭角三角形 ABC は点 O を中心とする半径 1 の円に内接している。更に、O から辺 BC, CA, AB に下ろした垂線をそれぞれ OP, OQ, OR とするとき、

$3\vec{OP} + 2\vec{OQ} + 5\vec{OR} = \vec{0}$ を満たしている。

- (1) \vec{OB} を \vec{OA} , \vec{OC} を用いて表せ。
- (2) 内積 $\vec{OA} \cdot \vec{OC}$ を求めよ。
- (3) OQ の長さを求めよ。

2 [2008 慶応義塾大]

$\triangle OAB$ において、 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とする。 $|\vec{a}| = 3$, $|\vec{b}| = 2$, $|\vec{a} - 2\vec{b}| = \sqrt{7}$ のとき

- (1) $\vec{a} \cdot \vec{b}$ の値は である。
- (2) $\triangle OAB$ の面積は である。

3 [2012 鹿児島大]

平面上に互いに異なる 3 点 O, A, B があり、それらは同一直線上にはないものとする。

$OA = 2$, $OB = 3$ とする。 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とし、その内積を $\vec{a} \cdot \vec{b} = t$ とおく。 $\angle AOB$ の二等分線と線分 AB との交点を C とし、直線 OA に関して点 B と対称な点を D とする。

- (1) \vec{OC} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。
- (2) \vec{OD} を t , \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。
- (3) $\vec{OC} \perp \vec{OD}$ となるとき、 $\angle AOB$ と OC を求めよ。

4 [1998 千葉大]

平面上の三角形 OAB は、 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$ とおくと、 $|\vec{a}| = 1$, $|\vec{b}| = \sqrt{2}$, $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{2}$ を

満たすとする。辺 AB を 1 : 2 に内分する点を P とし、直線 OP に関して A と対称な点を Q, OQ の延長と AB の交点を R とおく。

- (1) \vec{OQ} を \vec{a} と \vec{b} で表せ。
- (2) \vec{OR} を \vec{a} と \vec{b} で表せ。
- (3) $\triangle PQR$ の面積を求めよ。

高3数学β 2017スタンダード演習 41.平面ベクトル(2)

5 [2014 早稲田大]

角 A が鈍角の三角形 ABC において $AB=2$, $AC=3$ であり, 三角形 ABC の面積は $2\sqrt{2}$ である。このとき, 三角形 ABC の垂心を H とすると

$$\overrightarrow{AH} = \frac{\overset{\text{ア}}{\square} \overrightarrow{AB} + \overset{\text{イ}}{\square} \overrightarrow{AC}}{\underset{\text{ウ}}{\square}} \text{ である。}$$

6 [2012 東京慈恵会医科大]

三角形 ABC において, $AB=\sqrt{2}$, $BC=2$, $CA=\sqrt{3}$ とし, 外心を O とする。このとき, $\overrightarrow{AO} = s\overrightarrow{AB} + t\overrightarrow{AC}$ を満たす実数 s, t の値を求めよ。

7 [1999 山梨大]

$\triangle ABC$ の重心を G , 外接円の中心を E とする。

- (1) $\overrightarrow{GA} + \overrightarrow{GB} + \overrightarrow{GC} = \vec{0}$ を示せ。
- (2) $\overrightarrow{EA} + \overrightarrow{EB} + \overrightarrow{EC} = \overrightarrow{EH}$ となるように点 H をとると, 点 H は $\triangle ABC$ の垂心であることを示せ。
- (3) E, G, H は一直線上にあり, $EG : GH = 1 : 2$ であることを示せ。

8 [2007 東北学院大]

平面上に定点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$ があり, $|\vec{a} - \vec{b}| = 5$, $|\vec{a}| = 3$, $|\vec{b}| = 6$ を満たしているとき, 次の問いに答えよ。

- (1) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を求めよ。
- (2) 点 $P(\vec{p})$ に関するベクトル方程式 $|\vec{p} - \vec{a} + \vec{b}| = |2\vec{a} + \vec{b}|$ で表される円の中心の位置ベクトルと半径を求めよ。
- (3) 点 $P(\vec{p})$ に関するベクトル方程式 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot (2\vec{p} - \vec{b}) = 0$ で表される円の中心の位置ベクトルと半径を求めよ。

9 [2007 埼玉大]

$\triangle ABC$ を 1 辺の長さが 1 の正三角形とする。 $\triangle ABC$ を含む平面上の点 P が $\overrightarrow{AP} \cdot \overrightarrow{BP} - \overrightarrow{BP} \cdot \overrightarrow{CP} + \overrightarrow{CP} \cdot \overrightarrow{AP} = 0$ を満たして動くとき, P が描く図形を求めよ。

高3数学β 2017スタンダード演習 41.平面ベクトル(2)

10 [1997 山梨大]

座標平面上に3点 $O(0,0)$, $A(2,3)$, $B(6,1)$ がある. 点 P の位置が実数 s, t を用いて $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ で表されている. 次のそれぞれの場合について, 点 P の位置または存在範囲を図示し, その理由を説明せよ.

- (1) $s = \frac{1}{2}, t = \frac{1}{2}$
- (2) $s + t = 1, s \geq 0, t \geq 0$
- (3) $2s + 3t \leq 1, s \geq 0, t \geq 0$
- (4) $s + t = 2, st < 0$

11 [2003 大阪歯科大]

O を原点とし, $\overrightarrow{OA} = (2, 1)$, $\overrightarrow{OB} = (1, 2)$ とする. $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ とする. 実数 s, t が次の条件を満たすとき, 点 $P(x, y)$ の存在範囲を図示せよ.

- (1) $0 \leq s \leq 2, t = 0$
- (2) $0 \leq s \leq 2, 1 \leq t \leq 2$
- (3) $s \geq 0, t \geq 0, s + 2t \leq 2$

12 [2013 東京慈恵会医科大]

平面上に3点 O, A, B があり, $|\overrightarrow{OA}| = |\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB}| = |2\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB}| = 1$ を満たしている.

このとき, $|\overrightarrow{OB}| = \sqrt{\square}$ である. また, 実数 s, t が条件 $1 \leq s + 3t \leq 3, s \geq 0, t \geq 0$

を満たしながら動くとき, $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ で定められた点 P の存在する範囲の面積は $\sqrt{\square}$ である.

13 [2012 上智大]

$\triangle OAB$ に対し, $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$, $s \geq 0, t \geq 0$ とする.

また, $\triangle OAB$ の面積を S とする.

- (1) $1 \leq s + t \leq 3$ のとき, 点 P の存在しうる領域の面積は S の何倍か答えよ.
- (2) $1 \leq s + 2t \leq 3$ のとき, 点 P の存在しうる領域の面積は S の何倍か答えよ.